

第48期 決算説明資料

(2013年4月1日 ~ 2014年3月31日)

株式会社 **工ノモト**

【会社名】 株式会社 **エノモト**

【英訳名】 ENOMOTO Co.,Ltd.

【証券コード】 6928 

【URL】 <http://www.enomoto.co.jp/>

【代表者】 代表取締役社長 武内 延公

【問合せ先】 経営企画部 久嶋光博

【E-Mail】 ir@enomoto.co.jp

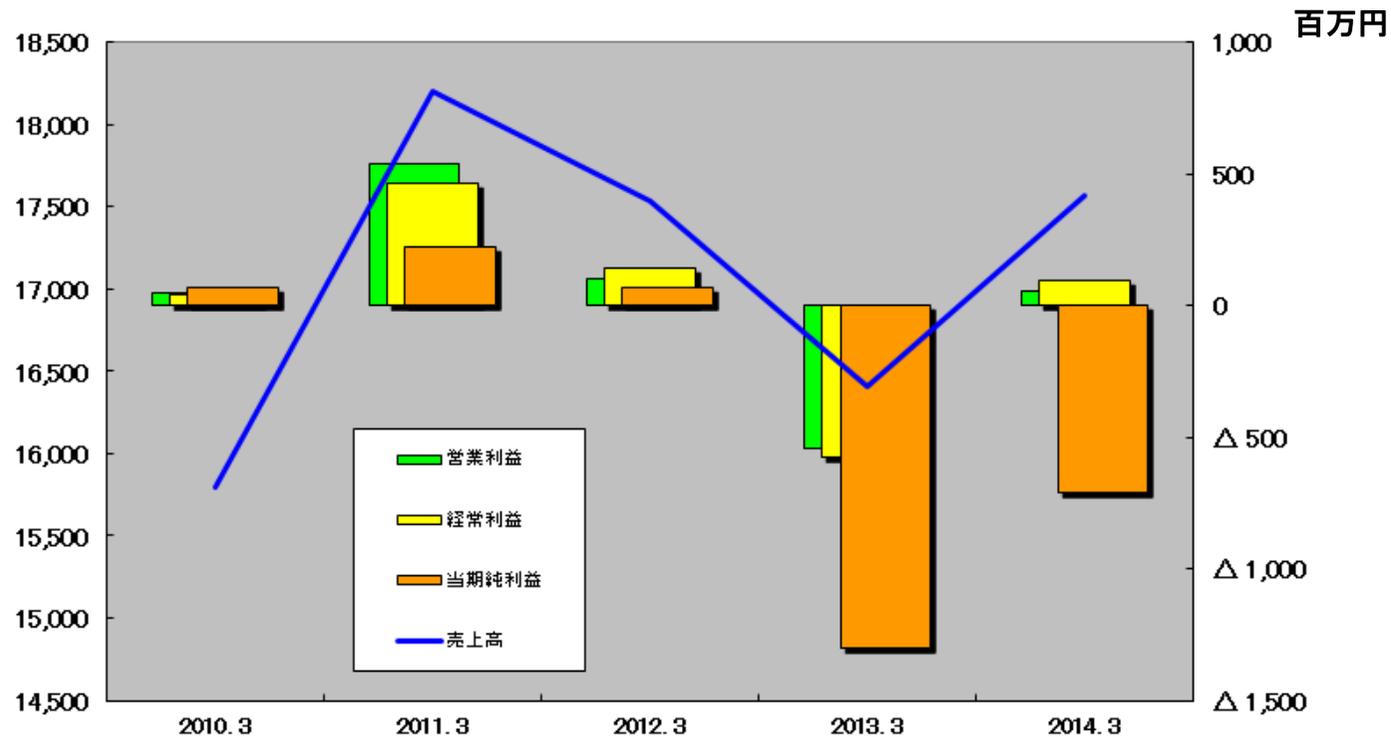
【本社所在地】 山梨県上野原市上野原8154-19

【電話番号】 0554(62)5111(代表)



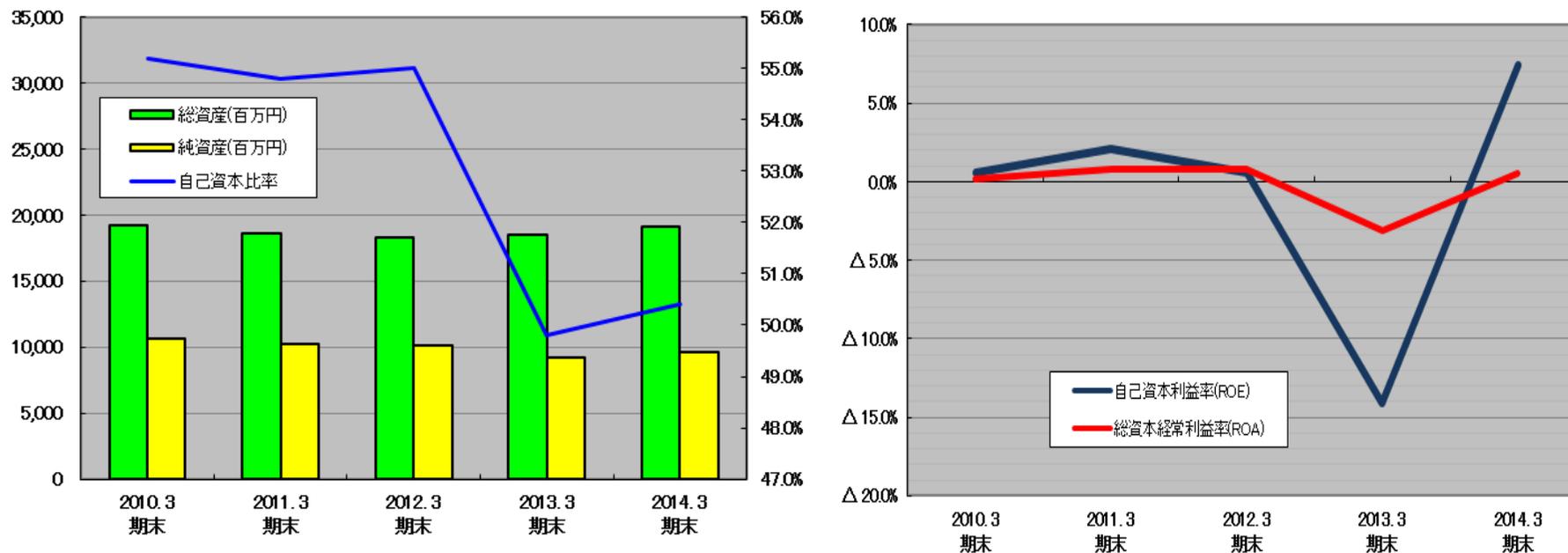
当期のご報告

■ 連結業績の推移



	2010. 3	2011. 3	2012. 3	2013. 3	2014. 3	前期比
売上高	15,795	18,204	17,533	16,405	17,563	7.1%増
営業利益	46	537	105	▲542	57	-
営業利益率	0.3%	3.0%	0.6%	-	0.3%	-
経常利益	40	462	139	▲574	93	-
経常利益率	0.3%	2.5%	0.8%	-	0.5%	-
当期純利益	67	225	65	▲1,300	▲713	-
当期純利益率	0.4%	1.2%	0.4%	-	-	-

百万円



	2010.3 期末	2011.3 期末	2012.3 期末	2013.3 期末	2014.3 期末
総資産	19,228	18,606	18,351	18,496	19,089
純資産	10,617	10,211	10,103	9,219	9,618
自己資本比率	55.2%	54.8%	55.0%	49.8%	50.4%
自己資本利益率(ROE)	0.6%	2.1%	0.6%	△14.1%	-7.4%
総資本経常利益率(ROA)	0.2%	2.4%	0.8%	△3.1%	0.5%

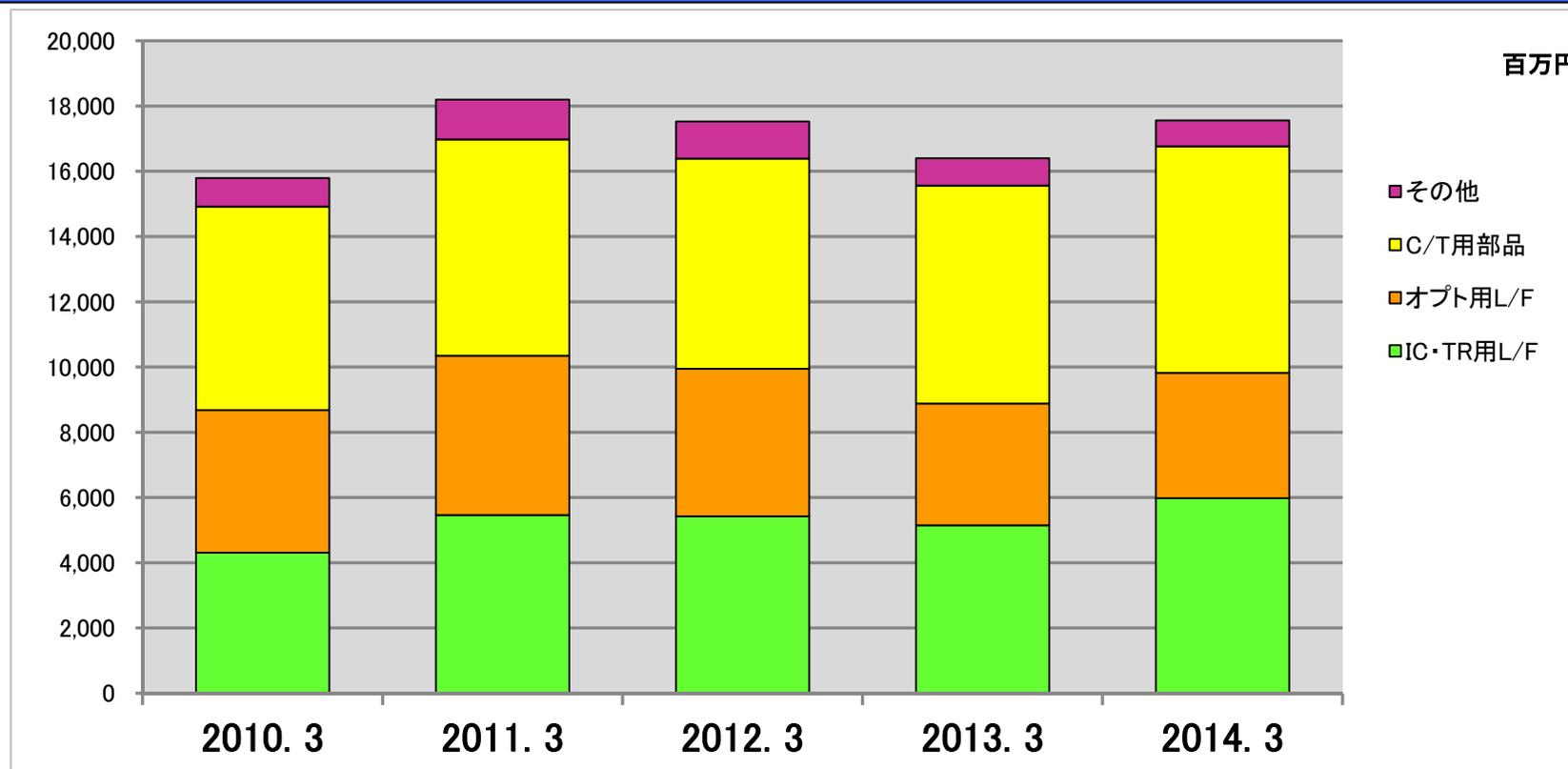
当期におけるわが国の経済は、政府の経済政策を背景に円安・株高基調が進み、個人消費や輸出が持ち直す等、緩やかな回復基調が続いておりますが、一方では円安によるエネルギーや原材料の輸入価格の上昇や海外経済の下振れ懸念に対する不安感等、依然として先行き不透明な状況での推移となりました。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、新興諸国の台頭による価格競争の激化や生産及び調達の海外シフトの進行による国内の市場規模の縮小が続いており、国内における受注量の確保が困難な状況になっております。一方、海外シフト先である中国及び東南アジアにおける受注環境は好調を維持し、受注・売上とも増加となりました。

このような状況下、当社は業績回復と成長軌道への回帰を実現するため、抜本的な事業構造改革を実施することを決断し、当期においては、生産拠点の統廃合と人員の削減を実施いたしました。

その結果、当連結会計年度の売上高は175億6千3百万円(前連結会計年度比7.1%増)となりました。また、営業利益は5千7百万円(前年同期は営業損失5億4千2百万円)、経常利益は9千3百万円(前年同期は経常損失5億7千4百万円)、また事業構造改革の実施に伴う特別損失3億2千1百万円、繰延税金資産の取崩9千6百万円および過年度法人税等9千9百万円を計上したことにより、当期純損失は7億1千3百万円(前年同期は当期純損失13億円)となりました。

■製品群別業績(売上高)



	2010. 3	2011. 3	2012. 3	2013. 3	2014. 3	前期比
IC・TR用リードフレーム	4,311	5,467	5,425	5,151	5,984	16.2%増
オプト用リードフレーム	4,368	4,879	4,522	3,733	3,839	2.8%増
コネクタ用部品	6,243	6,632	6,444	6,683	6,946	3.9%増
その他	871	1,224	1,140	836	792	5.3%減
合計	15,795	18,204	17,553	16,405	17,563	7.1%増

①IC・トランジスタ用リードフレーム

当製品群は、自動車向け、民生機器向けが主なものであります。市場鈍化の影響から、総じて民生機器向けの電子部品の需要が低迷しておりますが、各自動車メーカーが増産傾向にあることを背景に自動車向けデバイス用の部品等需要が拡大しております。その結果、当製品群の売上高は59億8千4百万円(前年同期比16.2%増)となりました。

②オプト用リードフレーム

当製品群は、LED用リードフレームが主なものであります。民生を中心とした市場の低迷によるLEDの供給過剰状態が続いている事から、第2四半期以降主要ユーザーを中心に在庫調整の動きが続いておりますが、一部の自動車向け及びディスプレイ向けについての需要は増加傾向にあります。その結果、当製品群の売上高は38億3千9百万円(同2.8%増)となりました。

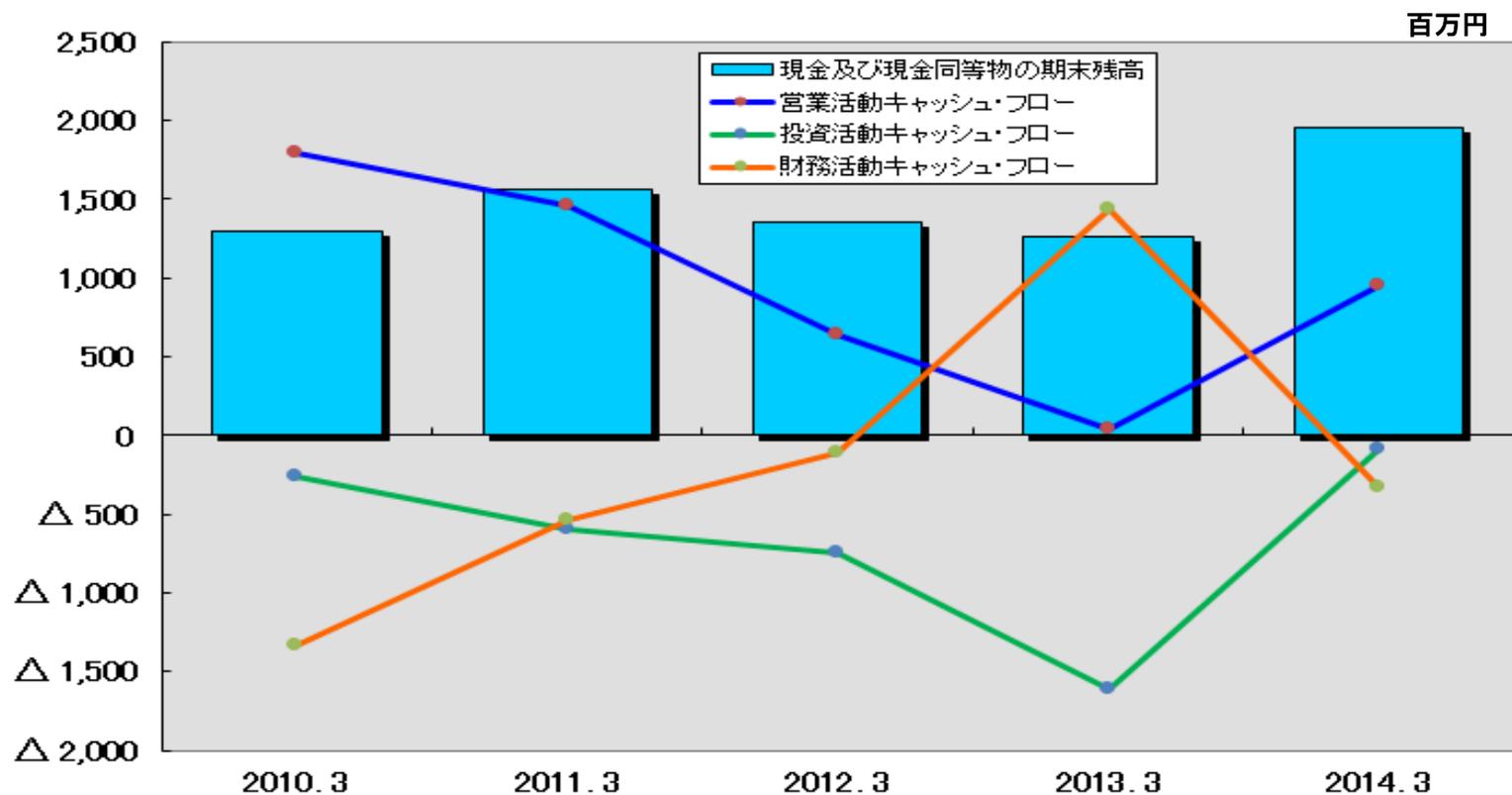
③コネクタ用部品

当製品群は、携帯電話・スマートフォン向け、デジタル家電向けが主なものであります。スマートフォンやタブレット型端末等のアイテムを中心に新興国の新規需要や先進国の買い替え需要が堅調に推移していることから、上半期にかけてはマイクロピッチコネクタ用部品の受注が増加傾向にありましたが、第3四半期以降は主要ユーザーを中心に、急激な在庫調整の動きがみられ、期待したほどの受注量の確保には至りませんでした。その結果、当製品群の売上高は69億4千6百万円(同3.9%増)となりました。

④その他

その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。当製品群の売上高は7億9千2百万円(同5.3%減)となりました。

■ キャッシュ・フロー



	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3	前期比
営業活動キャッシュ・フロー	1,795	1,462	640	36	948	912
投資活動キャッシュ・フロー	△ 267	△ 596	△ 743	△ 1,606	△ 94	1,512
財務活動キャッシュ・フロー	△ 1,333	△ 541	△ 112	1,438	△ 326	△ 1,764
現金及び現金同等物の期末残高	1,296	1,557	1,349	1,259	1,953	694

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ6億9千4百万円増加し、当連結会計年度末には19億5千3百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は9億4千8百万円(前年同期は3千6百万円)となりました。これは主に減価償却費10億9千6百万円及びたな卸資産の減少2億9千7百万円による資金の増加、役員退職慰労引当金の減少4億7千7百万円による資金の減少であります。

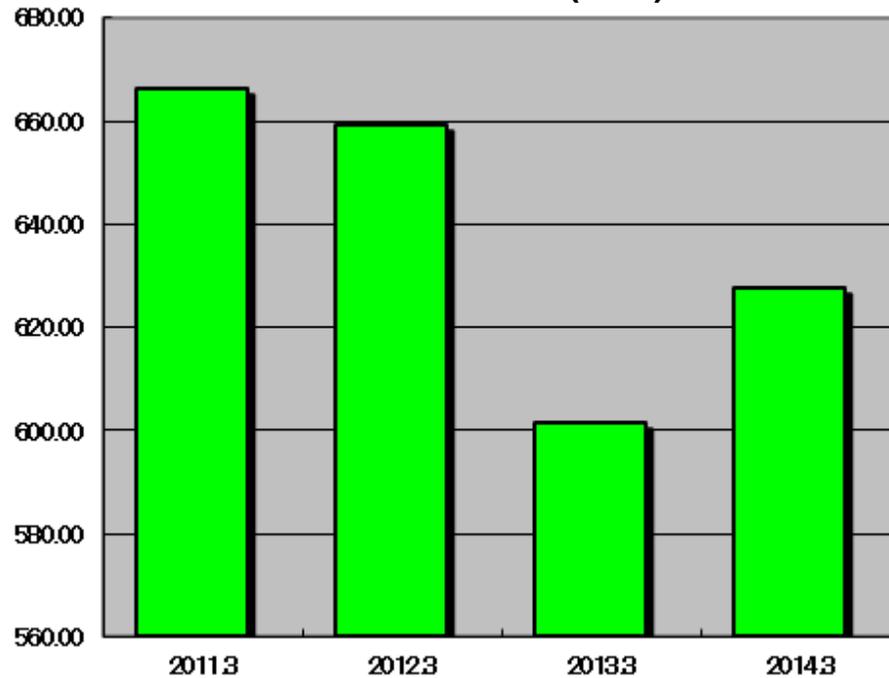
➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は9千4百万円(前年同期比94.1%減)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出6億4千4百万円、投資その他の資産の減少3億9千2百万円であります。

➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

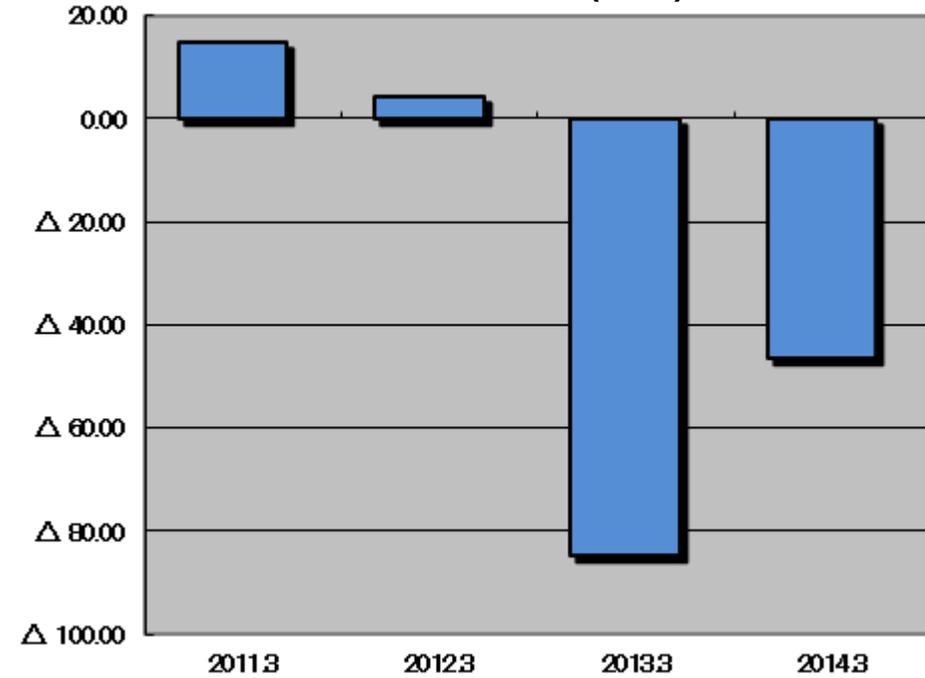
財務活動の結果使用した資金は3億2千6百万円(前年同期は14億3千8百万円の取得)となりました。これは主に借入金の純減額1億5千9百万円及び社債の償還1億2千万円による資金の減少であります。

1株当り純資産(連結)



1株当り当期純利益(連結)

円



	2011. 3	2012. 3	2013. 3	2014. 3	前期比
1株当り純資産(連結)	666.13	659.12	601.52	627.66	4.4%減
1株当り当期純利益(連結)	14.73	4.29	△84.81	△46.58	

○配当について

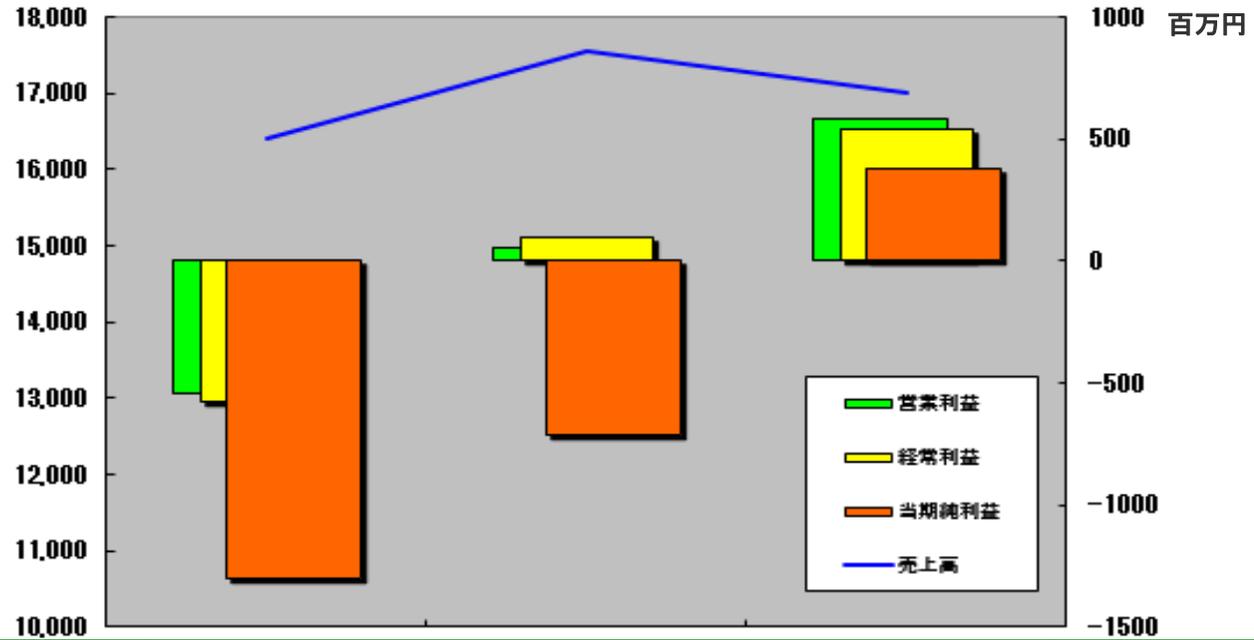
当社グループは、株主に対する利益還元を経営の最重要政策と位置づけており、将来の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、利益配分を安定かつ継続的に実施することを重視し、利益水準や配当性向などを総合的に判断して、適切な利益配分を行っていくことを基本方針としております。

こうした基本方針及び通期業績予想に基づき、配当金につきましては、当期の厳しい業績と配当性向を鑑みて、財務体質の強化を最優先することが適切な経営判断であると考え、誠に遺憾ながら無配(中間配当金0円、期末配当金0円)とさせていただきます。予定です。

2015年3月期
の見通し

■ 通期業績予想

● 連結



	2013. 3	2014. 3	2015. 3 見通し	前期比
売上高	16,405	17,563	17,300	1.5%減
営業利益	▲542	57	580	917.5%増
営業利益率	—	0.3%	3.4%	3.1P増
経常利益	▲574	93	540	480.6%増
経常利益率	—	0.5%	3.1%	2.6P増
当期純利益	▲1,300	▲713	380	---
当期純利益率	—	—	2.2%	---

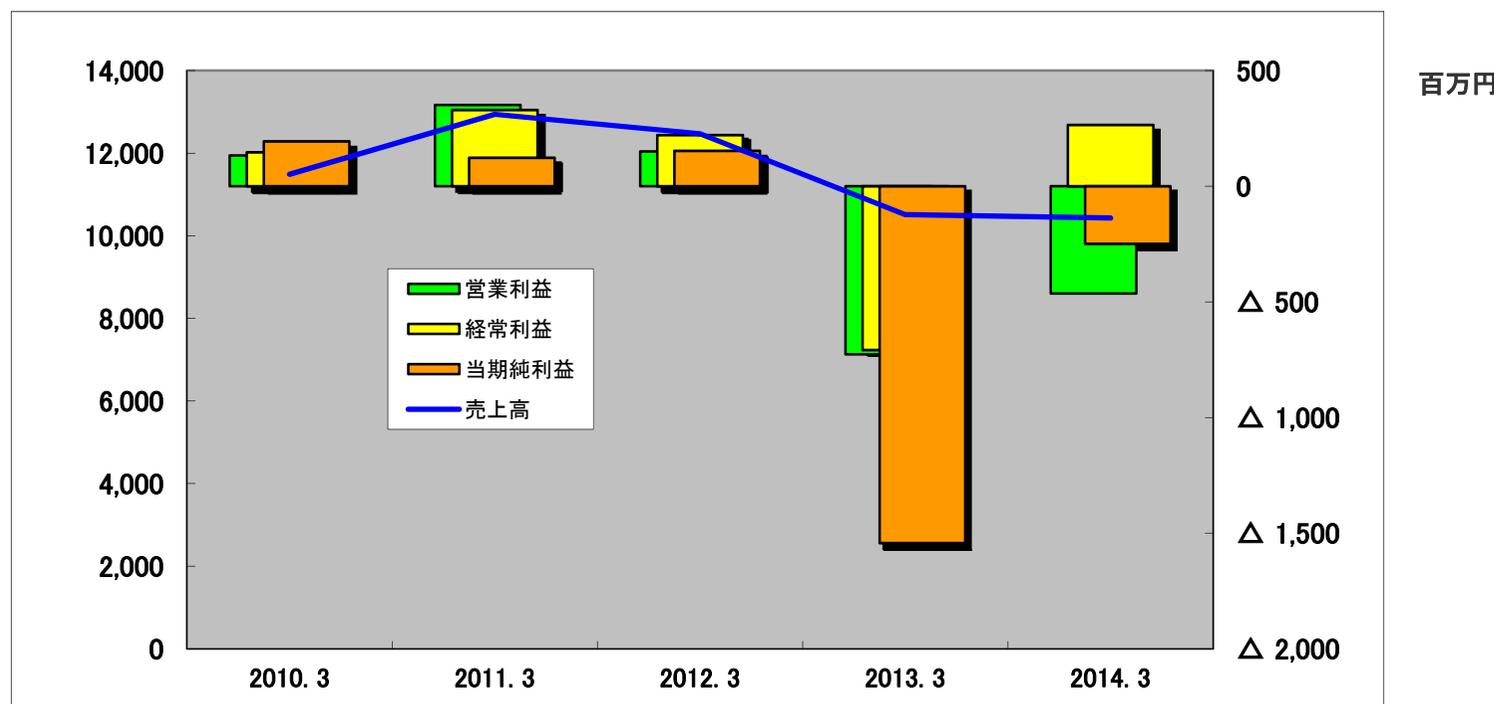
次期の見通しにつきましては、消費税の増税による個人消費の減速や中国をはじめとする新興国経済への不安、原材料価格の上昇等の懸念材料もありますが、輸出環境の持ち直しや経済対策の効果などを背景に、受注環境の回復基調は持続するものと見込んでおります。現在、生産調整局面にあるコネクタ用部品につきましては、モバイル市場拡大の中心的アイテムであるスマートフォン及びタブレット型端末向けの需要は、今後も拡大するものと見込んでおります。

また、LED用リードフレームにつきましては、自動車向けデバイス用部品については受注が堅調に推移しているものの、全体的には低調な推移となっておりますが、今後景気回復と同調しながら緩やかに回復していくと予想しております。当社グループは品質改善活動や製造コスト低減の推進をはじめ、当社の強みである金属と樹脂の精密複合加工技術をベースに新規の顧客開拓を積極的に行って参ります。

また、受注環境の好調な海外子会社の生産能力拡大、生産性の向上に努め、海外生産比率を高め、市場シェアの拡大を図って参ります。当社グループの平成27年3月期の通期の連結業績予想は、売上高173億円(前年同期比1.5%減)、営業利益5億8千万円(前年同期比917.5%増)、経常利益5億4千万円(前年同期比480.6%増)、当期純利益3億8千万円(前年同期は純損失7億1千3百万円)を見込んでおります。

補足資料

■単体の業績推移



	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3	前期比
売上高	11,490	12,941	12,470	10,509	10,429	0.8%減
営業利益	133	351	150	▲727	▲464	—
営業利益率	1.2%	2.7%	1.2%	—	—	—
経常利益	147	330	221	▲708	265	—
経常利益率	1.3%	2.6%	1.8%	—	2.5%	—
当期純利益	194	123	153	▲1,543	▲249	—
当期純利益率	1.7%	1.0%	1.2%	—	—	—



中期経営方針

経営品質の向上と
新たな価値の創造

2014年度 経営重点テーマ

原点回帰

- ・ 基本に立ち帰り、PQSの向上に努めよう。

PQS = Productivity(生産性)・Quality(品質)・Speed(スピード)

2011年度より5カ年の中期経営方針として『経営品質の向上と新たな価値の創造』を掲げ、今後わが社がグローバルに発展し、【高技術】【高効率】【高収益】の企業グループへ脱皮するための改革を全社レベルで推進しております。

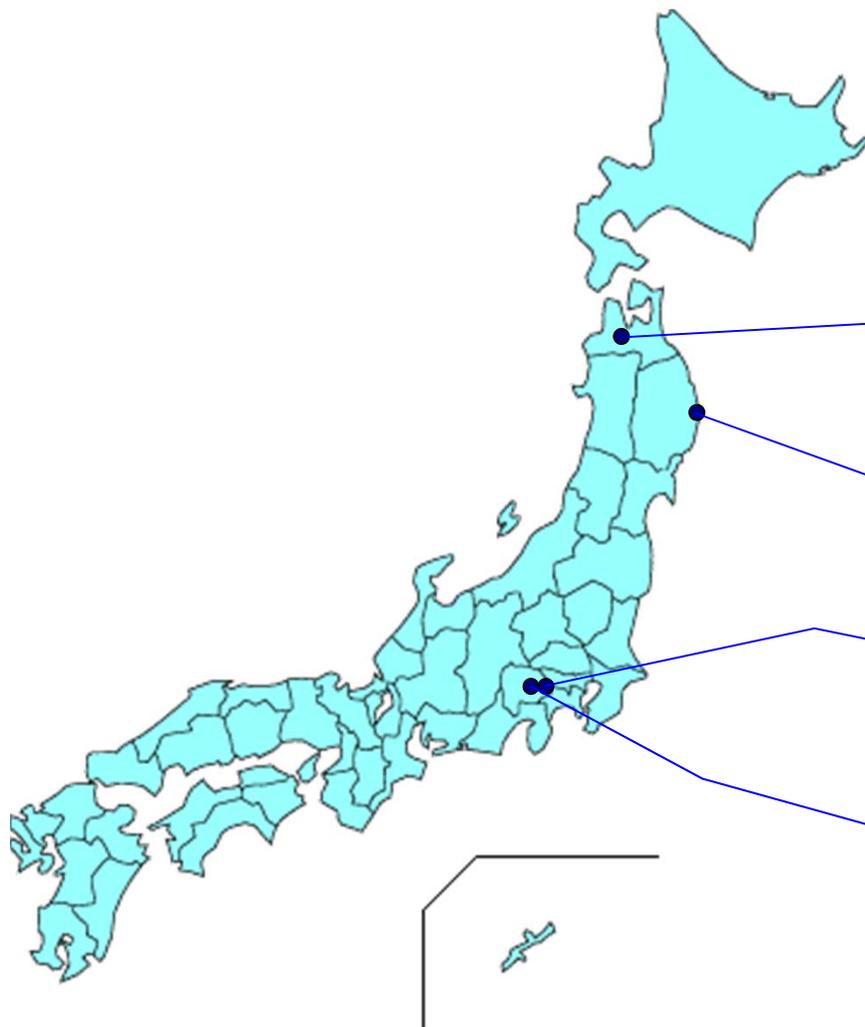




当社グループが対処すべき課題として、厳しい経営環境下、業績の回復と成長軌道への回帰を図るため、事業構造改革を進めております。経営体制や生産体制等、全ての事業活動について抜本的な見直しを行い、事業環境の変化に即応できる戦略的組織の構築を進めるとともに、将来、市場で必要とされる新たな技術の確立を推進し、次世代における事業基盤の構築を図って参ります。

また、年度ごとに経営重点課題を設定し、全社的な取組みを推進しております。2014年度はスローガンとして、【原点回帰】を掲げました。当社にとっての原点とは、丁寧なモノ造りでお客様に喜んで頂くこととあります。

全ての役員および従業員が、この原点に立ち返り、最高の品質をお客様に提供し続けることに真摯に取り組むとともに、ステークホルダーの皆様のご期待に応える企業グループを目指し邁進して参ります。



・津軽工場

青森県五所川原市大字漆川字玉椿191-1
TEL.0173-33-0570 FAX.0173-34-5206

・岩手工場

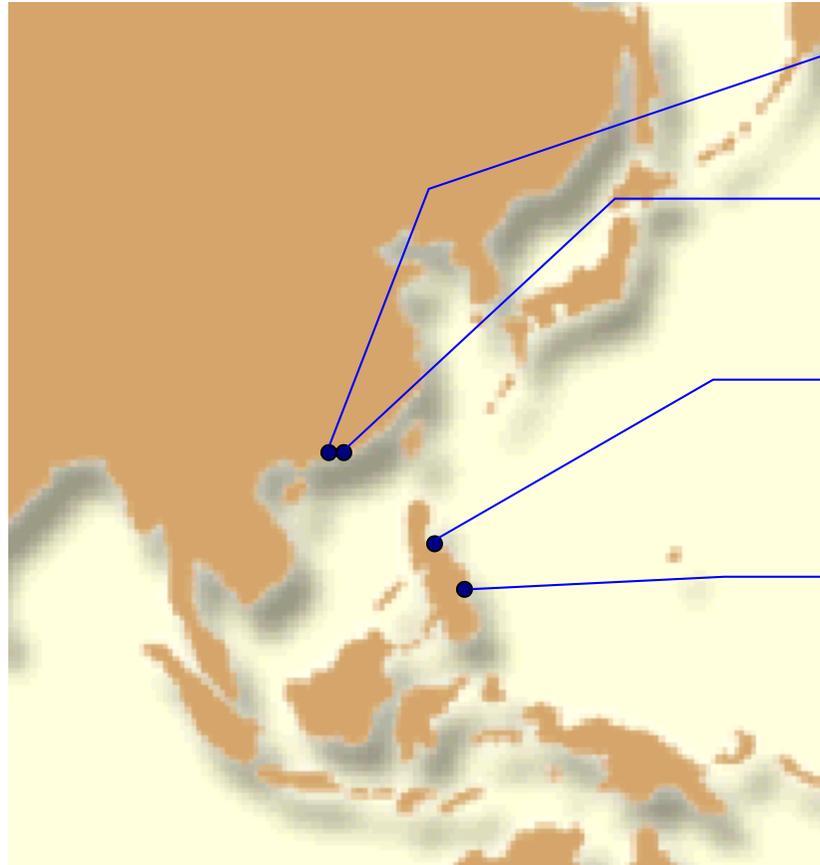
岩手県上閉伊郡大槌町大槌第10地割39
TEL.0193-42-8511 FAX.0193-42-8513

・本社/上野原工場

山梨県上野原市上野原8154-19
TEL.0554-62-5111 FAX.0554-63-4193

・塩山工場

山梨県甲州市塩山熊野666
TEL.0553-32-1111 FAX.0553-32-1159



▪ **ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.**
広東省中山市火炬開發区逸仙工業区
TEL.+86-760-8533-5111 FAX.+86-760-8533-5113

▪ **ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd**
香港九龍梳士巴利道3号星光行1805室
TEL.+852-2199-7848 FAX.+852-2199-7918

▪ **ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.**
PEZA-Gateway Business Park Javalera Gen.Cavite Philippine.
TEL.+63-46-433-0263 FAX.+63-46-433-0264

▪ **ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.**
CEBU OPERATIONS
Cebu Light Industrial Park, Special Economic Zone, Washington Road,
Basak, Lapu-Lapu City, Cebu, Philippines 6015
TEL.+63-32-341-2223 FAX.+63-32-341-2228

注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。

ENOMOTO Co.,Ltd.